



イエスの十字架と復活を仰いで

～イースターの意味とその喜び～



岩井キリスト教会牧師 原田帆海路

□ ハッピーイースター ～喜びの意味～

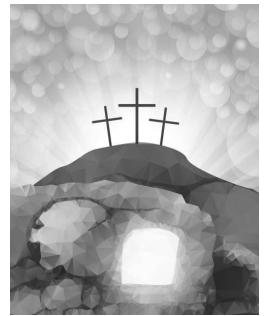
新型コロナウイルス感染症の収束がなかなか見えずにいます。さらにはウクライナ、ロシアの状況に心痛み、また日々刻々と変わる世界情勢に怯えながら歩んでいるかもしれません。将来に希望を持つことが難しい時代です。しかし、そのようななか今年もイースター(復活祭)を迎えようとしています。4月17日(日)がイースターです。スーパーに行くと「ハッピーイースター」とプリントされたお菓子が並んでいますが、イースターの“本当の喜び”をご存知でしょうか。

イースターとはイエス・キリストの復活を覚える日です。ですからイエスの十字架の死の意味が分からなくては、イエスの復活によってもたらされる本当の喜び(ハッピーイースター)を味わうことはできません。聖書はこのように教えています。

キリストは自ら十字架の上で、私たちの罪をその身に負われた。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるため。その打ち傷のゆえに、あなたがたは癒やされた。

ペテロの手紙第一 2章24節(新改訳2017)

初めの人アダムとエバによって罪が世界に入って以来、罪の自覚ある無しに関わらず私たちはみな生まれながらに罪を持っています。その罪がこの社会において様々な形で顔を出しているのです。あるいは心の内に何とか秘めているかもしれませんが、罪に悩み、傷つき、苦しんでいます。イエス・キリストは、私たちが苦しめる罪の問題を解決するために来てくださいました。神の子であり、罪の全くないお方が、全人類の罪の身代わりとなって十字架にかかってくださったのです。



□ 『私』のための十字架を仰いで

およそ2000年も昔の外国での出来事が、この21世紀の『私』と果たして関係があるのでしょうか。イエスの十字架の出来事よりも700年も前に生きたイザヤという人はこう語りました。

しかし、彼は私たちの背きのために刺され、私たちの咎のために砕かれたのだ。

彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、その打ち傷のゆえに、私たちは癒された。

イザヤ書53章5節(新改訳2017)

「彼」とはイエス・キリストを指し、この箇所はイエスの十字架について預言しています。イザヤはイエスの十字架を預言の眼を持って見つめ、『私』の罪(背き、咎)のためであることを悟り、さらには平安と癒しが与えられたと語りました。イザヤは信仰によって神の救いを仰ぎ見たのです。私たちは、すでに歴史的な出来事としての十字架が与えられており、それを証する聖書を手にし、聖書を通してイエスの十字架を仰ぎ見ることができます。そして平安と癒し、神の救いを受け取ることができるのです。

このトラクトを手にした『あなた』が、聖書を通して『私』のためのイエスの十字架を仰ぎ見て、平安と癒し、神の救いを受け取り、喜びに満たされたイースターを過ごすことができますようにと願っています。

現在、岩井キリスト教会では新型コロナウイルス感染予防から、礼拝をインターネットでも配信しています。インターネットを通して礼拝に参加されたい方は教会にご連絡ください。視聴に必要なURLをお伝えします。



〒306-0631 茨城県坂東市岩井3 2 6 9 番地1

TEL&Fax 0297 (35) 1448

ホームページ <http://park21.wakwak.com/~iwaicc>

メールアドレス iwaichurch1955@aa.wakwak.com

